



## 千曲川河川事務所長へ 要望書を提出しました

去る8月6日に国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所長へ千曲川治水事業の促進を求める要望書を提出しました。

当日は、千曲川護岸工事促進期成同盟会の会長である加藤市長を筆頭に篠ノ井・若穂・更北・松代（河川愛護会）の各会長が参加し、要望書の趣旨説明をしました。



松代地区としては、未曾有の災害となった令和元年台風19号を踏まえ

1. 千曲川小島田地籍の河川流路の中洲中央方向への変更
2. 更埴橋・関崎橋付近の河道掘削
3. 柴～牧島間の堤防かさ上げの早急な実施
4. 小島田・大室・西寺尾の漏水箇所への堤防強化および監視などの実施



などを要望しました。治水事業は、水害から住民の生命、財産を守り、豊かで美しい河川環境を創出し、潤いある安全で安心して暮らすことができる地域を実現するため、優先的に実施されるべきと考えます。今後も、早急な実施に向けて活動してまいります。

## 松代地区都市計画道路真田線建設期成同盟会 地区対策委員会を開催しました

8月12日に地区対策委員会委員長をはじめ沿線の区長が出席し、松代バイパス開通に伴う地区の課題や要望について長野建設事務所と協議をしました。

今年度中に全線開通予定である松代バイパスについて、地区要望に対する長野建設事務所の回答や説明を受ける中で、開通に伴う交通量の増加、バイパスにより分断される地域間の往来、児童生徒の通学などを考慮し、信号機の増設や横断歩道の設置など、安全性や利便性の確保について、あらためて多くの委員から意見や課題が挙がりました。

引き続き、開通までの残された期間に課題や要望について、長野建設事務所や長野市と調整してまいります。

## 第二次地域福祉活動計画について

「地域福祉」とは、子どもから高齢者まですべての住民が抱える課題を横断的に捉え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域の仕組みや考え方などをつくる取り組みです。

現在、松代地区社会福祉協議会では、第二次「松代地区地域福祉活動計画」策定委員会を発足し、地域福祉活動計画を見直しています。



### 1 「全体目標」(柱となる四つの計画・14事業・40活動で構成)

「広げよう福祉の輪 — つなぎ合おう手と手を —」

ご近所をはじめとする地域や地区のつながりを深め、「支え合い・助け合い」により、誰もが安心して暮らせる松代づくりを目指します。

### 2 柱となる四つの事業計画の目標

#### (1) 「福祉活動体制整備」計画(3事業・7活動で構成)

地域福祉の理解を深め、お互い様の関係を基盤として福祉活動を実践する組織づくりを目指します

#### (2) 「助け合い・支え合い」計画(4事業・13活動で構成)

ご近所とのつながりを深め、お互いを支え合い・助け合う活動を推進し、住みやすい地域をつくります

#### (3) 「ふれあい・交流」計画(5事業・9活動で構成)

誰でも気軽に参加できる交流の場を推進し、緊急時等においてお互いを助け合える地域をつくります

#### (4) 「学び合い・情報」計画(2事業・11活動で構成)

創り、育み、理解し合う機会の創出に取り組み、情報発信や広報活動の充実を図り、その強化を推進します



なお、第二次地域福祉活動計画の素案は、松代地区社会福祉協議会(ボランティアセンター 電話:278-9580)で、閲覧が可能です。

松代地区社会福祉協議会

第二次「松代地区 地域福祉活動計画」策定委員会

### 「松代地区人権を尊重し合う市民集会」 中止のお知らせ

協議会だより8月1日号に掲載致しました9月4日(土)に開催予定の「第31回松代地区人権を尊重し合う市民集会」は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止させていただきます。

(松代地区人権同和教育促進協議会)

～編集後記～ 自宅のエアコン室外機にハチの巣が作られていました。軒下など家の周りには常に点検が必要だと実感しました。

